



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 青木 智彦 TEL 0544-58-9080  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	90,509	19.9	2,194	—	2,456	—	2,527	—
2023年3月期第3四半期	75,476	22.1	△1,590	—	△1,107	—	△1,997	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,712百万円 (118.3%) 2023年3月期第3四半期 2,617百万円 (205.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	132.11	—
2023年3月期第3四半期	△104.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	84,900	31,689	37.3
2023年3月期	81,450	26,219	32.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 31,689百万円 2023年3月期 26,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	7.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	20.9	2,900	—	3,000	—	2,000	—	104.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	19,410,000株	2023年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	280,186株	2023年3月期	279,520株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	19,130,185株	2023年3月期3Q	19,126,061株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、世界的な半導体供給不足は徐々に緩和され、自動車の生産は回復傾向にあります。中国では、EV（電気自動車）シフトが急速に進み、市場のニーズが大きく変化していることや地政学リスクの高まりによる不安定な世界情勢等の懸念は残存し、引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における売上高は、中国での日系自動車メーカーの販売苦戦の影響等による減収はあるものの、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、原材料価格高騰等の販売価格転嫁の進展、為替換算による増収影響等により前年同期比19.9%増の90,509百万円となりました。損益面では、中国での減収影響、賃金上昇を受けた労務費の増加、貸倒引当金繰入額の計上等による悪化要因はあるものの、その他の地域での増収影響、合理化による収益改善、原材料価格高騰等の落ち着きや得意先の生産回復を受けた生産ロス解消等により営業利益は2,194百万円（前年同期は1,590百万円の営業損失）、経常利益は外貨建債権や海外連結子会社に対する貸付金の期末為替レートによる評価により為替差益を計上したこと等を受け2,456百万円（前年同期は1,107百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は製品保証引当金戻入額を特別利益に計上したこと等により2,527百万円（前年同期は1,997百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果等により33,814百万円と前年同期に比べ7,365百万円（27.8%）の増収となりました。セグメント損失は、209百万円（前年同期は951百万円のセグメント損失）となりました。増収影響、合理化による収益改善、得意先の生産回復を受けた生産ロスの解消等はあるものの、貸倒引当金繰入額の計上、子会社からのコミッションの減少、賃金上昇を受けた労務費の増加、車種構成差等により赤字となりました。

なお、製品保証引当金戻入額を特別利益に計上しております。

#### ② 北米

北米の売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、原材料価格高騰等の販売価格転嫁の進展、為替換算による増収影響等により42,284百万円と前年同期に比べ13,872百万円（48.8%）の増収となりました。セグメント利益は、2,066百万円（前年同期は1,633百万円のセグメント損失）となりました。賃金上昇を受けた労務費の増加等はあるものの、増収影響、合理化による収益改善、原材料価格高騰等の落ち着き等により黒字となりました。

#### ③ 中国

中国の売上高は、日系自動車メーカーの販売が苦戦している影響等により11,324百万円と前年同期に比べ6,719百万円（△37.2%）の減収となりました。セグメント利益は、13百万円と前年同期に比べ954百万円（△98.6%）の減益となりました。減収影響等により減益となり厳しい状況が続いているものの、親会社に支払うコミッションの減少、合理化による収益改善等により黒字となりました。

#### ④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替換算による増収影響等により3,085百万円と前年同期に比べ515百万円（20.0%）の増収となりました。セグメント利益は増収影響、合理化による収益改善等により467百万円と前年同期に比べ421百万円（909.7%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、84,900百万円となり、前連結会計年度に比べ3,449百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加2,476百万円、投資有価証券の増加697百万円及び原材料及び貯蔵品の減少935百万円が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、53,210百万円となり、前連結会計年度に比べ2,020百万円減少しました。これは短期借入金の減少4,128百万円、支払手形及び買掛金の増加1,815百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、31,689百万円となり、前連結会計年度に比べ5,470百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加2,569百万円、利益剰余金の増加2,284百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2023年11月1日に公表の業績予想値より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,646	11,840
受取手形及び売掛金	15,533	18,010
製品	2,701	2,325
仕掛品	1,311	1,434
原材料及び貯蔵品	12,946	12,010
その他	1,902	2,060
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	46,038	47,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,465	9,871
機械装置及び運搬具（純額）	11,296	11,230
工具、器具及び備品（純額）	4,281	3,966
土地	3,568	3,522
その他（純額）	2,986	3,299
有形固定資産合計	31,598	31,889
無形固定資産		
その他	257	364
無形固定資産合計	257	364
投資その他の資産		
投資有価証券	2,361	3,059
繰延税金資産	149	242
その他	1,052	1,998
貸倒引当金	△7	△333
投資その他の資産合計	3,556	4,966
固定資産合計	35,411	37,221
資産合計	81,450	84,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,840	11,655
短期借入金	20,439	16,311
1年内返済予定の長期借入金	2,987	2,899
未払法人税等	79	58
賞与引当金	805	507
役員賞与引当金	—	34
製品保証引当金	2,952	2,582
その他	5,537	6,378
流動負債合計	42,643	40,427
固定負債		
長期借入金	6,830	6,714
繰延税金負債	1,689	2,017
退職給付に係る負債	2,863	2,840
役員株式給付引当金	91	127
製品保証引当金	73	83
その他	1,039	1,000
固定負債合計	12,588	12,783
負債合計	55,231	53,210
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	16,577	18,862
自己株式	△123	△124
株主資本合計	24,873	27,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	872	1,366
為替換算調整勘定	920	3,490
退職給付に係る調整累計額	△448	△325
その他の包括利益累計額合計	1,345	4,530
純資産合計	26,219	31,689
負債純資産合計	81,450	84,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	75,476	90,509
売上原価	71,227	81,421
売上総利益	4,248	9,088
販売費及び一般管理費	5,838	6,893
営業利益又は営業損失(△)	△1,590	2,194
営業外収益		
受取利息	156	122
受取配当金	79	95
投資不動産賃貸料	49	49
持分法による投資利益	—	5
為替差益	416	606
その他	203	67
営業外収益合計	904	945
営業外費用		
支払利息	384	672
持分法による投資損失	0	—
その他	37	11
営業外費用合計	421	684
経常利益又は経常損失(△)	△1,107	2,456
特別利益		
固定資産売却益	—	2
製品保証引当金戻入額	—	421
特別利益合計	—	424
特別損失		
投資有価証券評価損	59	—
特別損失合計	59	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,166	2,880
法人税等	831	353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,997	2,527
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,997	2,527



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,997	2,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	493
為替換算調整勘定	4,459	2,569
退職給付に係る調整額	△23	122
その他の包括利益合計	4,615	3,185
四半期包括利益	2,617	5,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,617	5,712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	26,449	28,411	18,044	2,570	75,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,041	5	1,519	4,477	10,043
計	30,491	28,416	19,563	7,047	85,520
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△951	△1,633	967	46	△1,571

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,571
セグメント間取引消去	△31
その他の調整	12
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,590

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	33,814	42,284	11,324	3,085	90,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,757	29	1,477	5,841	11,105
計	37,572	42,313	12,801	8,926	101,615
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△209	2,066	13	467	2,338

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,338
セグメント間取引消去	△143
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,194